

## (単元)小説「羅生門」

## (本時のねらい)

本校の国語科においては、豊かな語彙と知識を身につけ、主体的に課題に向き合い、論理的に考え、分かりやすく表現できる生徒の育成を目標としている。生徒は、これまで『世界は謎に満ちている』『水の東西』など「読むこと」の学習を通して、思考を整理して表現する力を磨いてきた。この教材は「エゴイズム」をテーマに扱われることも多いが、そこに「自我や社会の境界性」を含めて読み解くことで、これまでの学習をより深めていくことができる。それだけでなく時代や背景に限定されない普遍的な自我の在り方についても考えることで、揺らぎやすい年代である生徒たちにとって、自己を対象化して捉える力をつける機会になると考え、この単元を設定した。

## (ICT活用方法)

自分たちが作成した思考ツールを説明するために、電子黒板を用いて発表する。従来は模造紙に書くなどしていたが、ICTを活用することにより、視覚的に捉えやすく、同時に時間的にもスムーズに進めることができる。

## (本時の展開)

時間	学習活動	指導事項	I C T活用方法	備考
導入 5分	前時の内容について聞く。	前時の内容把握を確認する。		
展開 35分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時代背景, 下人の心情, 下人の状況について, 個人でまとめる。</li> <li>・まとめたものをグループで共有する。</li> <li>・グループでまとめたものを発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・内容把握をもとにして, 思考ツール(Yチャート)にまとめさせる。</li> <li>・対話の中でより整理された思考ツールにする。</li> <li>・グループごとに発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで完成した思考ツールをタブレットで撮影し, 電子黒板に投影する。</li> </ul>	
まとめ 10分	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第1段落について文章化して整理する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・他グループの発表内容も踏まえてまとめさせる。</li> </ul>		

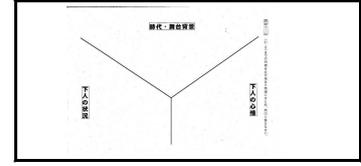
(授業の様子)



教材の投影方法



板書とICT



使用したワークシート

(生徒の反応と課題，改善を要する点)

プレゼンテーション形式での発表には不慣れな生徒もいるが，回数を重ねていくことによって向上していくと考える。総合的な探究の時間でも同様の発表をする機会を設けているので，国語科だけに閉じこもってしまわないように，うまく教科横断的発想を持って，指導を積み上げていきたい。